

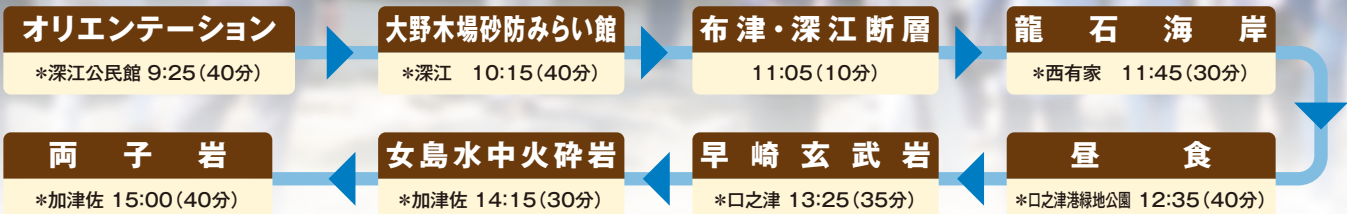
もっと南島原ツアー2011

第4弾 ジオツアー

ツアー参加者募集中!!

開催
9/25日
9月20日(火) 締切
先着40人

知っているようで知らない私たちが住む南島原市のこと。
南島原市では、市民の皆さんに多くの地域資源を知っていただくため、「もっと南島原ツアー」と銘打って観光ツアーを開催しています。第4弾としてジオツアーを開催します。
多くの皆さんの参加をお待ちしています。



募集要項

- 開催日：9月25日(日) ※雨天決行
- 集合場所・時間：各地区（バスにて送迎） ※右記参照
- 参加資格：市民または市内勤務の人
- 募集定員：先着40人
- 持参品：弁当、飲み物、タオル、帽子、雨具（雨天の場合）
※弁当を準備できない場合は1個500円で注文します。（要予約）
お茶はつきません。
- ※足元が悪い場所を歩きますので、歩きやすい服装や靴でご参加ください。
- 申込方法：①名前 ②住所 ③電話番号 ④集合場所 ⑤弁当注文の有無
※上記内容を電話、FAXまたはEメールで申し込みください。
- 申込期限：9月20日(火) 午後5時

●集合場所・時間(各地区バスにて送迎)

地区	集合場所	出発時間	到着時間
加津佐	前浜海水浴場(交番前)	8:00	15:40
口之津	口之津庁舎前駐車場	8:10	15:50
南有馬	南有馬庁舎前バス停	8:25	16:05
北有馬	北有馬保健センター	8:35	16:15
西有家	西有家庁舎	8:45	16:25
有家	有家庁舎	8:50	16:30
布津	世紀の泉	9:05	16:45
深江	深江庁舎	9:15	16:55

※到着時間については前後する可能性があります。

申し込み・お問い合わせ 商工観光課 ☎050(3381)5032 FAX0957(82)3086
E-mail: kankou@city.minamishimabara.lg.jp ※詳細についてはお問い合わせください。

ミュージカル 東北の大地復興への祈り

アテルイ

阿修羅

北の耀星

この大地のため、迷いはない。

◆チケット取り扱い
南島原市教育委員会 生涯学習課 ☎050(3381)5082 販売時間：月曜日～金曜日(祝日を除く) 9:00～17:00
ありえコレジヨホール ☎050(3381)5047 [当日連絡先] 販売時間：月曜日～日曜日 9:00～20:00
●主催：南島原市教育委員会 ●後援：南島原市文化協会、南島原市PTA連合会、南島原市商工会、報道関係各社

南島原市芸術・文化振興事業/劇団わらび座

公演日：10月16日(日)

開場/13:30 開演/14:00

会場：ありえコレジヨホール

◆入場料(全席指定 発売中)

一般 2,000円(当日500円増)

高校生以下 1,000円(当日500円増)

市役所の担当課がわからないときは ☎050(3381)5000(代表)へ

☑/申込方法 ☑/お問い合わせ ☑/日時 ☑/場所 ☑/対象者 ☑/定員 ☑/料金

日中国交正常化40周年、長崎県・上海市友好交流関係樹立15周年記念

特別企画展 「孫文・梅屋庄吉と長崎」

長崎県出身の「梅屋庄吉」という人物をご存知ですか。
明治元年に長崎で生まれた梅屋庄吉は、若くして海外に渡り、香港やシンガポールなどで写真館や当時の先端ビジネスである映画で成功し、帰国後、映画興業で莫大な財をなしました。香港では中国の辛亥革命を指導した「孫文」と出会い、孫文を私心を交えず物心両面で支え続けました。
辛亥革命から100周年を迎える平成23年は、長

崎県・上海市友好交流関係樹立15周年にもあたり、平成24年は日中国交正常化40周年にあたります。
これを記念し、長崎歴史文化博物館で、特別企画展「孫文・梅屋庄吉と長崎」を開催します。
孫文や梅屋庄吉がアジアに描いた高い理想や、彼らの物語性豊かな人物像、国境を越え中国の歴史を動かした友情など、彼らの魅力的な歴史人物像と孫文・梅屋庄吉の長崎県を広く情報発信します。



画像提供：小坂文乃氏

【と き】 10月1日(土)～
平成24年3月25日(日)

開館時間 8:30～19:00(入館は18:30まで)
※毎月第3火曜日は休館日
観覧料 大人800円(県内小・中・高校生は無料)

【と ころ】 長崎歴史文化博物館

図 長崎県文化振興課 ☎095(895)2762
長崎歴史文化博物館 ☎095(818)8366

国際交流員 りんしょう「林 晶」さんによるコラム

リンさんのぶらり中国

Vol.2～ 中国の大学～

大家好!! (皆さん、こんにちは。)
今回は中国の大学を紹介します。中国の大学は4年制の本科と、短大にあたる3年制の専科に分かれます。改革開放が始まった1978年当時、大学進学率は1.4%でしたが、現在は70%を超えています。中国教育部の統計によると、2010年の全国の大学の新入生は650万人超。新入生らは毎年、期待と不安を抱きながら、故郷を一人旅立ちます。
日本と中国の大学生活の大きな違いは、「住まい」です。日本が自宅や下宿などから通うことが多いのに対して、中国では寮に住む学生がほとんどです。学生寮は、4人部屋が一般的。室内にはベッド、勉強机、タンスやトイレなどが整備され

ています。共に生活する4人はルームメイトであり、クラスメイトでもあります。彼らは一緒に涙を流し、喜びを分かち合いながら、絆を深めます。
次に違う点として、中国の大学生はアルバイトをして自分の生活費を稼ぐ人が少ないことです。ほとんどが親からの仕送りで生活をしています。大学生にとって、アルバイトは小遣い稼ぎ程度。家庭教師のアルバイトが1時間20円から50円(320円から800円)です。こうしたお金で生活していくのはとても無理です。では、全く違うのかというところではなく、中国の大学でも、スポーツや文化活動などの授業以外の活動がとても盛んです。



学生寮



莆田学院運動会